昭和二十五年（1950）定價一部一圓十五錢　週二賣　磐城毎日新聞　六月二十三日（金曜日）　第28号　（日刊）

磐城毎日

福島縣平市南町（内郵便局）六六　發行所
株式會社磐城毎日新聞社　編集兼印刷人
倫孝藤遠　發行人
電話（平）一二一〇番

きらはれる療養所

關係協議破れ厚生省へ

石城醫師會より平醫師會の分離問題、國立結核療養所翠ケ丘病院の移轉問題等につき現地調査の爲め來平中の橋縣衛生部長は二十一日朝豐間町翠ケ丘病院に赴き内木石城醫師會長、大森結核豫防世話人會世話人、小谷平市衛生課長列席のもとに同日午前十時より同病院に於て折柄出張中の厚生省の係員、大久保翠ケ丘病院長以下病院側及び豐間町當局、議會代表其の他地元關係有志十數名と移轉問題につき約二時間に亘つて懇談したが町當局及び地元有志側は觀光客の誘致並に水産食料の生産に及ぼす影響等の理由に依り强硬に移轉問題を主張し厚生省及縣側に於ては移轉に要する經費の問題即ち移轉先の敷地は町有地を無償提供するとしても敷地の整地費だけでも千五百万円を要する見込で病棟其の他の移轉費を含めて約四千万円を要するものと見られ緊縮豫算の關係から縣に於ては勿論政府に於ても移轉費の捻出は絶對不可能であると主張し遂に結論を得なかつたが橋衛生部長、大久保翠ケ丘病院長、地元代表の三名が來る廿六日上京厚生省當局と懇談の上移轉問題の解決に當る事に決定した

と言ふ樣な不安定な氣持が起きてゐたが近く復興事務所では事業計畫の概樣圖を作り市内に掲示して市民の理解を求めるべく目下計畫中。

十五万ボルト線

日發側測量始む

石城郡下の産業開發は電力不足から充分に立ちあがることの出來ない狀態にて大口關係消費者は現在の六万ボルト送電線を十五万ボルトを確保する爲め之れが運動を續けてゐたものであつたが最近に至り日發側では地方業者の要望を容れるべく現地の測量調査に乘り出したので資材その他の見通しがつき次第實現の可能性が濃厚になつて來た

移轉問題と別に

療養所の整備は必要

一圓万180ふ迷に宙

翠ケ丘病院の移轉問題については別項の如く橋縣衛生部長、厚生省係員を中心として地元代表者側と長時間に亘り懇談をとげ結論を得るにいたらなかつたが厚生省の方針としては結核療養所は豫算の關係もあり新設或は移轉擴張策を行はず既設の病棟を整備しベット數を增加して患者を成るべく多數收容する建前であり二十五年度の厚生省豫算中から第一、四半期分の結核療養所の整備費として福島縣への割當額は五十病床を增設する事を條件として百八十餘万円を計上してあり縣當局に於てはこの割當全額を翠ケ丘病院の整備費に充てるとしてもこの整備した施設は豫算の關係もあり新設する事は移轉問題の障害になるものとの見解から現病棟の整備にも極力反對するものと豫想されているが談の際に何らかの解決を見るまで折角の當縣への割當豫算は將來移てんもん題が實現するまでは無駄になるものではない。

部長から證明があつたが地元側の見地から地元側の整備し反對に對し反省を要望されている

割當豫算は政府に返上しなければならぬ羽目になつて居るので關係者を苦慮せしめて居り何れこのもんだいも二十六日の厚生省との懇談の際に何らかの解決を見て事業計畫の内容を知らぬ市民の間には何時吾が家が區劃整理の對象にされるか

區劃整理豫定案

市民に發表

都市復興事業の進むにつれて事業計畫の内容を知らぬ市民の間には何時吾が家が區劃整理の對象にされるか

石城木炭部會

集荷販賣協議會

來る二十六日午前十時より縣販連石城木炭部會農業會館（新館）で、集荷販賣、原木資金その他について協議會を開く。

警備隊增員で

遠藤總務部長來平

國警本部遠藤總務部長は二十一日平地區署長と會見し豫てよりの警備隊增員に關する宿舍問題に就て打合せを爲し歸廳した

人事ニュース

△本二十三日午後三時炭政局長中島政帆氏と同課長村田恒氏の兩名が來平し石炭局で打合せの後常磐、好間の各炭礦を視察して歸廳する豫定

壇評稿寄

平市發展の一考察

競輪揚設置につき、いろいろ論議されてゐるが、とにかく人を集めるための一方法である。一市民として大賛成を表す者である。知る通り平市は商業都市である、何でもよい人を集める事は市の發展の一方策となるのである。

南進平―是は當然の事で將來は小名濱港と結ばれるべきである。人を集める方法として平市では大工場誘致も重大な方途である。市當局の方々には大いに活躍され、いろいろ論して戴きたい。

石炭に惠まれ又福島縣は電氣縣となる將來を豫約されてゐるのであるから、生産地としての條件は揃つてゐるのである、是で工場誘致が出來ないのでは市民の愛市の念を疑ひたくさへなる。

市民よ、大いに市當局にムチ打つて下さい。現在の市當局がやる事は何でも反對しなくては濟まない人々が是の小さな平市の中にゐる。

大平市建設のためには一切の私情を捨てて大局から良いものは之を大いに延ばしてやり惡いものには勿論堂々と反對すべきであり是正しなくてはならない。コセコセした島國根性は日本人特有の持ち物らしいが、大いに反省の必要があろう。市を愛するの念は國を愛するの念であり國を愛するの念は世界を愛するの念に通ずるものがあるべきでせう。

近い例は平より遲く發展すると云はれた郡山がどんどん發展して平の何倍かの大都市になつてしまつた。

ぐるつと山に圍まれた風當りの少い平市に生を受けたが故に島國根性以上の狹い市民になつたのでせうなんて云われたくない。大いに地の利点を生かし私情を捨てて、産業振興に力を入れることである。大きな氣持で大工場誘致でも競輪場設置でも、とにかく人を集めて市の發展のために協力しようではありませんか。

（一市民天の邪鬼）

勿論郡山にも黨派鬪爭ひみたいな事はあるらしいが平よりはまだゆるい樣だ。

後のあなたは今

共濟會結成の氣運

市職組は發展解消か

市職組は新聞法的の存在でもなきものなり以前通りの給料一円八十錢の組合費を文句なしの月給日の毎月二十一日に差引かれて總計金七千円以上が組合費となり此の内から月二千円を縣職組に納入して來たが、此の金が六ケ月も送金せぬとかで先方から文句があつてこんなものなら組合を解消して吏員の共濟會でも結成し相互扶助の親睦を計り冠婚葬祭や病氣見舞に活用した方が親しみがあるではないかと職組の發展的解消の氣運あり脱退者には五万十万の厚生資金云々は當低常識では判斷つかづ其の金の出道がどこにあるかなど笑の種になつてゐる

人生記

（18）

眞面目で努力家

平市衛生課長

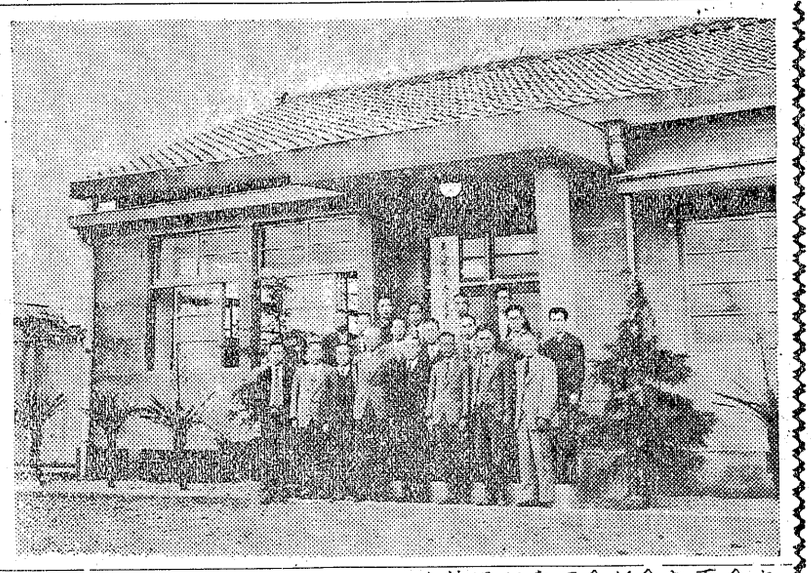
小谷義男氏

銀行畑で人生の半分を送つた氏は平銀行の合併後は茨城縣の各地で暮し、最後は常陽銀行下館支店で足をあらつて故郷の平へと歸つて來たのである昭和十二年九月に時の市長青沼氏によつて社會課の一員となつたが其の採用の際市長から月給三十円の話に直ちに返答をしないと云つてお目玉を頂戴したが、如何に當時でも家族五人の暮が三十圓ではと、一寸胸算段をせざるを得なかつたとは今もなほ茶飲話の語草であるが此點など何時も計算の觀念は忘れない。

だによつて仕度は幾何計數的でキチンと處理するなど眞面目さの程がうかがわれる、本年四月一日社會課より分離して衛生課の新設に長の椅子を與えられたのも遇然でなくして衛生主任など七年以上の勤務振りを認められたものである。

傳染病の豫防に市内の清掃に昆虫く除に隔離病舎の對策に埋火葬の認可に一般公衆衛生に日夜勵げんでゐることは寧ろ華々しくないが、職務が職務だけに市民とは最も深いつながりがあることを思ふ時課長として氣苦勞は大變なものであらう。

獨學勉勵の徒と云ふ言葉があるが小谷氏はこれを實せんして來て今日の位置を得た實直の吏員の範たる者である。



新築なつた配電事務所

東北配電小名濱電業所は、小名濱仲町境四十六番地、野口茂さんの手で總建坪六十四坪、工費二百万円で去る二月末から着工されてゐたが此の程完成舊事務所から過般移轉した事務所と職員

官衙學校職員錄（其十五）

福島縣立磐城高等學校
校長　豐口欽哉
教務主任　野々山三郎

鈴木一夫　田代喬　早川宗慶　山名龍澄　鵜沼昂一　熊谷亀壽　鈴木七男　作山道男　山口研次　新妻利久　沖野明夫　手塚孝　土岐昇　宇佐神正恒　志賀好一　賀榮彦　宇田恒雄　酒井博　木内佐門　佐藤信眞　赤津

村上遠平　遠藤清之助　鈴木守　中川信一　藥谷達　馬目英雄　牧野總一郎　山森正一　田中金三郎　紺野勝治　吉川俊夫　植田文夫　渡邊武治　薄井重光　三瓶榮　須藤忠和　鈴木傅三郎　田中重三　中島茂　柳沼美技　草野伸夫　福田ユキ

平市立第一中學校
校長　中島茂
教務主任　田中重三

神原充　鈴木康子　宇田哲雄　佐藤滿廣　藤川正男　今泉秀太郎　新谷明彦　高崎カズ　鈴木克彦　佐藤敏光　高木冶　吉田寿子　山本ノブ子　菊地寿子　海老原冶子　北原智江子　小林智年　中島シゲ子　小谷陽子　山崎靖夫　長谷川直義　梅谷健次郎　小松七郎　岩本堅一　諸橋典惠　佐藤東子

海に山に初夏の美は
清爽な服裝から
ドライクリーニング
ナガヤマ
平市大町5
TEL 606番

◇絶對品切れの無い店◇
氷の御注文は迅速第一の當店へ、
日本製氷平營業所
川德氷雪小賣店
平市四丁目
電話一一四七番

平市鍛冶町一八
石城酒造株式會社
電話一二六番
取締役社長　古川傳一

平生活協同組合
平市南町三十三番地
電話一〇八四番
配給所　南町、鎌田、鷹匠町、六間門、久保町

器具什器賣拂公告
一、賣拂物件及所在地
1、物件　電話類（番號一〇五一、一〇五二、一〇五三、一〇五四、三八五號）金庫類（ベンド式參號、オールスチール貳號）和文タイプライター、計算器、歐文タイプライター、電話交換器
2、所在地　平市堂根町九番地　配炭公團清算事務所東京支部平出張所
二、賣拂の方法　一般競賣入札
三、入札開札の場所　平市堂根町九番地　配炭公團清算事務所東京支部平出張所
四、入札開札の期日　昭和二十五年六月二十六日十二時迄
入札日　同日一時
開札日
入札保證金　買受見積價格の百分の五以上現金にて
五、其の他現品の下見場所　配炭公團清算事務所東京支部平出張所
六、
右公告する
昭和二十五年六月二十六日
配炭公團清算事務所
東京支部平出張所長

夜行列車國警でガサ
米二十俵押收惡質八名檢擧

仙台、原町公安官、宮城縣國警本部警乘員、平地區署を惡質違反で平市署に引渡員十三名は二十二日上り準急二一二列車（平着午前一時二十分）の平—仙台間一齊取締りを行い、原ノ町驛で置去り品主食その他百個米約二十俵を押收、惡質違反者八名を檢擧し、さらに平驛で置去品主食百七十個米約三十俵を押收し一石四斗を所持していた四倉町本町無職目黒靜雄（二六）外五名發し驅除對策をたてることになつた

コマダラメイ蛾
海岸林に發生

新舞子海岸の縣行造林地帶に「松のコマダラメイ蛾」の幼虫俗名しん喰ひ虫が發生してゐる報に接し昨二十二日平營林署長が現地調査した結果縣營造林地帶全面に發生して松の發育を阻害してゐる事がわかつた、亦防風林の一部もその被害を受けてゐる事が判明した

水泳界から見込れ
木田（磐高）君滯京猛練習

磐高三年生木田雄三（一八）君は十七、八日白河プールで行つた水泳講習會に出場、百米背泳に一分十二秒七の記錄を立て講師元オリンピック選手石原田敏氏に認られ仝氏の個人指導を受ける事になり十九日出京した、木田君の百米背泳記錄は昨年の國体で一分十六秒八を出し昨年の記錄は一分十五秒であり今度の一分十二秒七の記錄は早大待島の一分十秒八には劣るが全國第三位に當る記錄である。

石原田氏談「木田君は雄大なそして余力充分な泳法でコーチの不充分さを克服してこの記錄を出したのでコーチの如何によつては一分十秒を破る記錄が出るのではないだろうか、八月四日より三日間行ふ日米水上競技大會迄に一分十秒を破る記錄を出させたい」

磐高千葉教官談「木田君は眞面目で成績も良し身長は六尺五分ある、昨年の記錄を見亦通常の練習をコーチして見て今度石原田氏に認められた事は本當に嬉しい日米水上競技大會、二十七年のヘルシンキ大會には是非出場して母校の爲に奮闘する事を願ふものだ」

縣内赤痢患者
既に五十名發生

平保健所十日現在の調査によれば、縣内各郡下に發生した赤痢を含む患者の中死亡が十三名、治癒三十七名で今尚患者として治癒中の

ズイ虫發生
市農家に警告發す

平市内平窪地内の苗代にズイ虫の發生してゐることが判明狼狽した部落民は市農務課に報告同課では地區農業改良指導所澤田技師と共に現地に出張調査を行うと共に市内の各部落に警告を

鹿島の破藏二人組
窃盗未遂で緊急逮捕

平地區署では二十一日午前邊保直方同三島澤字日吉下九時頃湯本町字八仙二七海一一農業箱崎憲一方、同館產物商沼里保（三五）同町大字下二〇農業四家興一方同三日渡字青葉一一三無職佐藤澤字藥師下七一農業吉田玄春雄（三三）の兩名を窃盗未遂容疑で緊急逮捕した。兩名は二十日夜共謀の上鹿島村大字矢田字榎木一九農業渡邊直方同三島澤字日吉下一一農業箱崎憲一方、同館二〇農業四家興一方同三澤字藥師下七一農業吉田玄碩方など四軒の土藏を軒並に破錠したが、いづれも未遂に終つたもの。

七万圓窃盗の
二人組中學生擧る

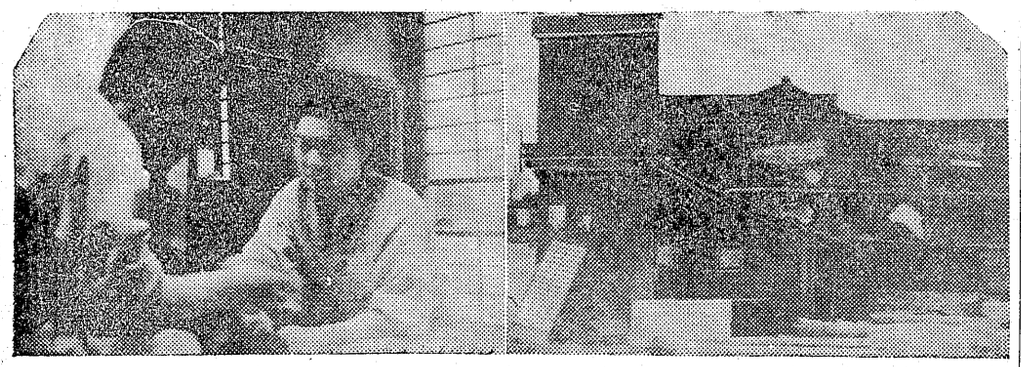
平地區署では二十二日湯本町湯本字長倉九五磐崎中學二年某（三）磐崎村上湯長谷字力谷九五同中學二年某（三）を窃盗容疑で捕えた、兩名は十四日午後十一時頃野天風呂から歸途同字梅ケ谷菅組現場主任村松守さんが風呂に入つてゐる隙に共謀同事務所から現金七万五千円赤革鞄書類などを窃取し鞄は川に流し書類は竹やぶに捨て、親分株の同上湯長谷字梅ケ平無職平元一美（三五）外四名と湯本町で遊興飲食し殘金は平市で映畫を觀たりズボン、時計などに消費してしまひ聞込に出かけた平地區署の田仲、角田刑事に捕つた

修養講演會
佐々木教授招ぎ

平地區署では二十一日午前十時半より管内各町村長を集め、縣グランド建設、スポーツ振興寶くじ割當消化打合せを行い。縣總特等十万円より九等二十円賣出額二千万円百万枚で石城郡の消化割當は十三万二千枚、平市は二万枚である。

縣下スポーツ振興
寶くじ平へ二万枚割當

石城地方事務所では二十四日午前十時半より管内各町村長を集め、縣グランド建設、スポーツ振興寶くじ割當消化打合せを行い。縣總特等十万円より九等二十円賣出額二千万円百万枚で石城郡の消化割當は十三万二千枚、平市は二万枚である。



突如
家屋取壊しの通知受けて

昨報驛前高橋フミさん居住（大橋秀冬氏所有の家屋）は強制立退を受け一昨日復興事務所の手で取壊準備にかゝられたが所有者の方から此處一兩日のうちに取り壊しにかゝるからと云ふ申し入れで一時中止した移轉先の問題で家主側と居住者側の意見が合はず延びてゐたもの（寫眞は其の家屋と突然の破壊通知で面喰つたフミさん）

水泳講習會
中小校教職員

教委平出張所では來る一日午前八時より磐高プールに於て郡下小中學校教員に水泳講習會を開くことになつた、講師は小名濱水產學校小林正毅氏と磐高水泳部が參加することになつてゐる

病苦から自殺

湯本町字傾城常磐炭礦東寮内無職渡邊ウン（六五）は二十二日午前三時頃同町傾城地内トンネルで上り列車に飛込み自殺した原因は病苦から

結婚詐欺捕る

住所不定露店商岩佐喜志（二〇）は結婚詐欺の疑で二十日平地區署に捕つに岩佐は作年六月頃から好間村北好間字張一郎荒堀松枝（三六）さんと戀愛し相當深い關係にあつたが無職で全く收入がないにも拘らず結婚すると欺して信じさせ去る二月頃までの間に現金約二万円を編取したもの

水遊び中死亡

好間村北好間採炭夫新田勝美二男勝吉（一八）君は二十一日午前十時半頃赤井嶽麓沼で、友人達と水泳中心臟まひで死亡した

石城總合病院賣店
未亡人會員に

内郷町磐城總合病院の開業事件の最高指導者内郷町宇宮澤元日共平地區委員長鈴木光雄（三六）は平地區署渡邊司法主任の取調べを受け二十二日午後一時頃送檢、高橋檢事の取調べの後檢事勾留となつた

鈴木光夫送檢

寫眞展開く
マルトモホールに

平寫眞師營業組合主催縣組合寫眞展は二十四、五の兩日マルトモホールで開催する出品は七十点でいづれも藝術的香り高いもの

スポーツ振興グランド建設
寶くじ發賣に就て

一、發賣の趣旨

全國民的大行事として毎年實施されつつある國民体育大會を昭和二十七年度には本縣に誘致して一大スポ！ツの祭典を展開せしめようと目下いろいろな誘致運動を行つておりますが、この誘致の第一條件となるものはいろいろの第一條件となるものはいて皆様の心からなる御協力を切に御願いいたします

二、發行條件

1、この寶くじは當籤金附證票法により福島縣が發賣するもので發行總額は貳千万円であります。その發賣方法は證票番号を第一〇、〇〇〇番から第一九、九九九番までの一万通とし、一〇〇組に分けて賣出します。

2、寶くじの發賣により擧げた收益は福島縣のスポ！ツ振興並びにグランド建設資金の一部に充てられます。

3、まこの寶くじは一通の券面金額を貳拾円とし券面金額で賣出します。

4、この寶くじは日本勸業銀行福島、會津、平の三支店、出張所、代理店、直屬賣捌店、地方賣捌所及び市町村賣捌所で昭和二十五年六月二十五日から七月二十四日迄一ケ月間賣出します。

5、この寶くじは昭和二十五年七月二十九日福島市公會堂で抽せんを行います。

特等、一等、二等、三等は一〇〇組の内各五本、四等は八十本とし、順次上位の等級より組抽せんにより決定し、當せん番号は各組共通とします。その他の等級の當せん番号は各組共通とし、重ふく當せんを認めるものとします。

6、抽せんにより發行總額貳千万円（一〇〇組）に對し左の奬金を附與いたします。

特等十万（五本）一等五万円（五）三等二万圓（五）四等一万圓（八〇）五等千円（二〇〇）六等一〇〇百円（三、〇〇〇）七等五〇円（五、〇〇〇）八等三〇円（四〇、〇〇〇）九等二〇円（二〇〇、〇〇〇）計二四八、四〇〇

7、奬金は昭和二十五年八月五日から四等以上の奬金は日本勸業銀行縣下各支店、出張所に於いて五等以下については前記各支店、出張所の外信用組合、無盡會社、農業協同組合及び特定支拂店で支拂を開始します。

8、奬金は支拂開始の日から一ケ年間に請求しないときは時効に依り無効となります。

三、其の他

1、寶くじを甚だしく汚染又は破損したときは支拂を御斷りする場合があります。

2、當せん者は整理の關係がありますから奬金はなるだけ早く御受取願います。

3、當りくじ番号發表はラジオ放送、新聞掲載、掲示（縣廳、地方事務所、市役所、町村役場、勸業銀行各支店、同出張所）で御知らせします。

昭和二十五年六月

福島縣
受託銀行　日本勸業銀行

【鮮魚市況】
—二十二日現在—
（單位貫）

かつを	二八〇—二五〇円
いか	一五〇円
あかじ	一二〇円
かながしら	一八〇円
さば	八〇— 七〇円
小たい	五〇円
すずき	二八〇—二五〇円
あじ	八〇— 七〇円
めじまぐろ	二〇〇円
かつを活潑	ほかは下廻る

【青果市況】
—（マルサ市場）—
二六—一五円
九〇—八五円
なた豆　二〇〇—一五〇円
さやえんどう　一二〇—八〇円
玉ねぎ　四五—三五円
馬鈴薯　四〇—三〇円
櫻桃（小川產）　二二〇—一八〇円
桃　三二〇—一五〇円
南瓜（茨城產）八五—五〇円
なす一箇（好間今仁井田產）七円
總べて昨日と保合

株式市況
（磐城證券）
—二十二日現在—

染料輸出こう轉の報を入れ化藥三井化等が確りした外高低區々であつ出來高概算一一五百株

鋼管　三六
東洋紡　一五六
鐘紡　一八
日清紡　二四五
吳羽紡　八三
日東紡　七三
片倉　四〇
帝人　一〇四
東洋レ　八八
新光レ　一四一
山バル　一六三
東海上　二四五
新郵船　一〇三
三井船　九八
日發　三五
三井山　四三五
日石　六〇
吳羽化　五〇
苫小牧　一四八
十條紙　一五三
本州紙　一六三
日セメ　五七
磐城セ　一六八
小野田　一〇七
不動新　二一七
陽和不　一九六
開東不　二一六
三越　四〇八
日麥酒　四三五
朝麥酒　四一八
キリン　五〇三
寶酒造　一四五
野田醬　三六〇
豊年油　一三三

産婦人科　齋藤醫院　平市南町　電話九二番

一般業務用　家庭用　配達迅速　水野氷室　平市大町大通り　電話二一九九番

皮膚科　性病科　内科　矢吹醫院　平市縣社下　電話一一九三　一二九五番

外科　木村外科醫院　平市南町一四　電話三〇九番

丸茂土建工業所　塩谷茂雄　營業所　平市十五丁目二二番地　電話一〇六一・四八〇番　出張所　新潟市旭町通一ノ七五四　電話五三五番　出張所　東京都中央區日本橋室町一ノ六　電話日本橋六〇七番

鈴木　耳鼻咽喉科　醫院　平市田町　電話六一三番